

九大病院だよりは患者さん向けの広報誌です。ご自由にお持ち帰り下さい。

北棟11階無菌治療病棟をご紹介します

人間の体には無数の細菌および真菌がすみついています。また、私たちの周りにも無数の細菌と真菌が存在しています。健康な人間は、これらの微生物が体の中にはいり病気を起こすことを防ぐ免疫が働き、病気にかかりません。白血病の患者さん、骨髄移植を受ける患者さん、など免疫力の弱った患者さんを感染症から護るためには、細菌と真菌などの微生物に接触する機会を出来るだけ少なくする必要があります。

北棟11階無菌治療病棟は、超高性能フィルター（High Efficiency Particulate Air filter: HEPA filter）という空調設備を用いて、病棟全体の空気が高い清浄度を維持しており、肺アスペルギルス症などの感染症が減少することが期待されます。無菌水というきれいな水も常時供給されます。本病棟は全室個室となっており、患者さんの状態に応じて迅速に治療を行うことが可能になります。抵抗力の減少した患者さんを専門に治療する医師および看護師などが常駐して治療にあたります。

造血幹細胞移植、骨髄抑制が予想される癌化学療法、遺伝子細胞治療、など最先端の治療を必要としている患者さんに、より清浄な環境を提供し、合併症無く治療を遂行するための病棟です。



無菌治療病棟入口（中は二重ドア
になっています）



病室



病室に設置された無菌水製造装置



超高性能フィルターを通して清め
られた空気の吹出口（廊下天井）



ピクツキにご用心

コラム

筋肉のピクツキはだれでも激しい運動をした後によく経験するところです。このような運動のあとのピクツキは筋肉の疲労が回復すると消失する一時的なもので心配いりませんが、いつまでたっても消えない場合は病気の起こり始めのことがあり注意が必要です。このような病気によるピクツキは全身のいたるところに起こります。たとえば、顔の筋肉のピクツキが続く場合には、臉をあげにくくなったり（眼瞼けいれん）、顔の半分が絶えずピクツクようになったりします（片側顔面けいれん）。頸の筋肉がピクツキついて頸が片側に絶えず向いたり後ろや前に傾いた

神経内科科長 吉良 潤一

MESSAGE from Zyunichi Kira



りすることもあります（痙性斜頸）。これらの筋肉の異常なピクツキは神経内科で診断、治療ができます。以前は完治するようない治療薬はありませんでしたが、いまはボツリヌス毒素という筋肉のピクツキをとる薬を筋肉内に何度か注射することで驚くほどよくなります。また疲れてもいないのに手足の筋肉の一部がピクツク場合は、筋肉を動かす運動神経の病気のことがあり、やはり神経内科で診察しています。筋肉のピクツキは日常よく起こりますが、続く場合は早めに神経内科を受診することをお勧めします。

本年3月21日に内科病棟が新病院に移転し、それに伴う形で、旧東5階から東7階の内科病棟は旧第1、2、3内科ごとの診療体制から臓器別診療体制となりました。北棟11階は血液・腫瘍内科、免疫・膠原病・感染症内科及び無菌治療病棟、北棟10階は消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科及び肝臓・膵臓・胆道内科、北棟9階は内分泌代謝・糖尿病内科及び肝臓・膵臓・胆道内科の病棟となり、旧第1、2、3内科のスタッフが各臓器別に配属されています。

血液・腫瘍内科では、白血病、悪性リンパ腫などの血液疾患、各種固形癌の診療を行い、造血幹細胞移植を積極的に行う日本の代表的な移植施設の一つであり、臨床腫瘍専門医として

円形癌には抗癌剤と分子標的薬を併用した治療を行っています。免疫・膠原病・感染症内科では、自己免疫疾患・膠原病に対して、最新の治療薬の導入と造血幹細胞移植などの高度先進治療を行い、感染症専門医として他診療科からの感染症の診断・治療についてコンサルトを積極的に行い、他院からご紹介いただいた重症感染症患者の診療にあたっています。

腎・高血圧・脳血管内科では、腎疾患の組織学的診断とそれに基づく治療方針の決定、急性・慢性腎不全における全身管理と透析医療、急性期脳血管障害の診断と早期治療、慢性期脳血管障害の病態診断と再発予防、二次性高血圧の診断、高血圧症における臓器障害の評価などを中心に診療を行っています。消化管内科では、食道・胃・大腸の腫瘍性病変のX線内視鏡診断、種々の消化管疾患に対する内視鏡的治療、クローン病と潰瘍性大腸炎に代表される慢性炎症性腸疾患の診断と分子標的治療などを行っています。

内分泌代謝・糖尿病内科では、下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、性腺などにおける様々な内分泌疾患、肥満、高脂血症、骨粗鬆症等の生活習慣病、今や国民病ともいわれる糖尿病、メタボリックシンドロームにつき診療をおこなっています。肝臓・膵臓・胆道内科では、急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、肝癌、急性膵炎、慢性膵炎、膵癌、膵内分泌腫瘍、胆石、胆道癌などの疾患に対し、最新の診断技術や治療法を駆使した医療を提供しています。また西日本の肝臓移植の拠点病院として、肝臓移植医療の適応決定やご相談に応じています。

(文責) 血液・腫瘍内科、免疫・膠原病・感染症内科 長藤 宏司
消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科 松本 主之、松村 潔
内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科 有田 好之



ナースセンターでの臓器別診療科の表示（北棟10階）

検査部が国際規格 ISO15189認定を取得しました

検査部長 高柳 涼一



最近、組織の運営や商品の品質管理が適正に行われていることを顧客に対して客観的に提示することが求められています。医療機関においては「病院機能評価」が有名ですが、国際的に通用する第三者機関による評価としてはISO(International Organization for Standardization)規格があります。国際規格であるISO15189とは臨床検査室のための規格です。2003年に制定され欧米はもとより、アジア各国においても実際の臨床検査の現場に導入されつつあります。当検査部では平成18年3月にISO15189規格を満たす検査室として認定を取得しました。現在までに、全国の病院検査室や民間検査センターなど12施設が取得していますが、国立大学病院では2番目です。

今回認定を取得したことにより、本院検査部は信頼性のある検査データを各診療科医師に提供していることが国際的に認定されたこととなります。再検査の可能性を最小限に抑え、診療のための費用と時間を削減するなど、今後も患者様の信頼感や満足度を高めるためにさらに努力して行きたいと考えています。

「愛の図書室」ボランティア

皆さん「愛のボランティア」をご存知でしょうか。
毎週火曜日11時～14時30分まで、本と録音図書（テープ・CD）の無料貸出しをしています。

入院中の方、通院中の方を中心にたくさんの方が利用されています。

貸出している本は、退院される方や病院のスタッフより寄贈されたもので、録音テープは著者の許可を得てボランティアが朗読したものです。

この4月から南棟4階に引越しました。

これまでより部屋が広いので、ゆったりとくつろぎながら本を読んだり、借りたいものを選ぶ事ができます。



談笑しながら寄贈本を整理するボランティアのメンバー

これからも皆さまの安らぎの場として利用していただきますようお願いいたします。
松尾 充子

? ことこのごろの 言葉 ?? ? 分からない 言葉 ??

難病

昭和42年ころから全国規模で多発した“スモン”をきっかけとして、昭和47年国の事業として難病対策が始まった。疾患の範囲は、①原因不明、治療方法未確立であり、かつ、後遺症を残すおそれが少なくない疾病、たとえば、パーキンソン病、重症筋無力症、再生不良性貧血、悪性関節リュウマチなど。②経過が慢性にわたり、単に経済的な問題のみならず、介護等に著しく人手を要するため家庭の負担が重く、また精神的にも負担の大きい疾患。たとえば、小児がん、小児慢性腎炎、ネフローゼ、小児喘息、進行性筋ジストロフィーなど。医療費の自己負担軽減、医療施設等の整備、地域における保健医療福祉の充実・連携、調査研究の推進などが公費で行われている。

九州大学医療経営管理学 元教授 西岡 和男

別府先進医療センター

療養病床の開設について

別府先進医療センターでは療養病棟（医療型）を本年6月1日に開設いたしました。慢性疾患で比較的軽症（医療区分1および2）ながら退院するまでに数ヶ月程度かかる見込みの患者さんに入院していただき慢性疾患専門に医療を提供します。対象は慢性関節リュウマチ、膠原病、慢性心不全、パーキンソン病等の慢性神経疾患などの患者さん、外科的手術後などによる長期臥床による下肢筋力低下した患者さん、消耗性疾患からの機能回復の患者さんなどが主な対象となります。当センターでは、温泉治療学研究所時代からのその蓄積された知識に加え、最新のリハビリテーションを提供します。すなわち、科学的根拠に基づいた医学に視点を置き、患者さんの心と体の両面から回復を図る治療を行います。治療内容はリハビリ温泉療法、転地療法、全身の疼痛の緩和とリラクゼーション、森林浴、手もみ徒手医学を主体とした手技療法を行います。また、高齢者の使わなくなった機能呼び覚ますリハビリフィットネス、自立した日常生活を促すADL（日常生活の活動度）訓練なども提供することが出来ます。お問い合わせは下記へお願いします。また、詳しくはホームページをご覧ください。



食堂



浴室

連絡先 電話 0977-27-1700 FAX 0977-27-1627
メール sbiiji@jimu.kyushu-u.ac.jp

※奨学寄付金とは、教育・学術研究の奨励及び病院運営の助成等のため、個人・法人等から寄付金として受け入れるものです。詳しくは、左記係へお問い合わせ願います。

モロッコからのお客様

去る4月21日、遠い国から九州大学病院にお客様がお見えになりました。モロッコから、「地方村落妊産婦ケア改善プロジェクト」国別研修（JICA）のために福岡にや



てこられた、保健省人口局長ティアン・ムスタファ先生と、国家リプロダクティブヘルスセンター長ベザード・ラシド先生です。モロッコという、なじみが薄いかも知

れませんが、映画「カサブランカ」の舞台となった北アフリカの国です。日本赤十字国際看護大学の喜多悦子学長のご紹介で、九州大学病院の見学と、百年講堂で講演を行っていただきました。九大病院での一日は、まず水田病院長の訪問から始まりました。病院の概況の説明があり、日本とモロッコの周産期・小児医療で話が弾みました。見学では、NICU、小児医療センターには大変感銘を受けられたようで、モロッコの医療を改善するヒントがこちらにちりばめられているようだ、とお二人もおっしゃっていました。講演会では、モロッコの母子保健に関するお話があり、100人を越す皆様にご参加いただき、大変な盛況でした。お帰りになってから、今後、ITを用いた遠隔医療の研修や情報交換、また病院見学などお願いできれば、というお話もいただきました。どうやら「九州大学病院のファン」になっていただけたようで、国際交流の輪が、アジアを越えて広がっていく気配を感じた一日でした。

アジア国際医療連携室 室長 牟田耕一郎

お知らせ

外来休憩室の開設について

平成18年5月16日（火曜日）より、患者さん・付き添いの皆さんに御利用いただくための休憩スペースを外来売店横に開設しました。どうぞ、ご休憩・お食事等にご利用下さい。



外来診療日一覧

お尋ねは、下記の診療科等に直接お電話願います。午前中は大変込み合い、電話がかかりにくい場合があります。予めご了承下さい。（市外局番は「092」です）

科名(実働曜日)	初診日	再診日	科名(実働曜日)	初診日	再診日
1 総合診療部 (642-5300)	月～金	月～金	1 第二外科 (642-5479)	月・水・金	月・水・金
1 内科(初診) (642-5300)	月～金	月～金	1 整形外科 (642-5504)	月・水・金	金
2 内科(兩末) (642-5302)	月～金	月～金	2 脳神経外科 (642-5533)	月・水・金	月・水・金
1 臨床遺伝診療部 (642-5421)	月～金	金	2 心臓外科 (642-5565)	月・水・木	水・木
1 先端分子細胞治療科 (642-5996)	月～金	月～金	北棟5 小児外科 (642-5578)	月・水・金	月・水・金
2 心療内科 (642-5335)	月・木	火・水・金	2 皮膚科 (642-5596)	月・水・金	火・木
2 神経内科 (642-5349)	火・木・金	月・水	2 泌尿器科 (642-5615)	月～金	月・水・金
2 循環器内科 (642-5371)	月～木	月・水	1 精神科神経科 (642-5640)	火・木	月～金
2 呼吸器科 (642-5388)	月・水・金	月・火・水・金	1 眼科 (642-5660)	月・水・金	月～金
2 産科婦人科 (642-5409)	火・木	月～金	2 耳鼻咽喉科 (642-5681)	火・木	月・水・金
2 産産母子センター (642-5900)	火・木	月～金	1 放射線科 (642-5705)	月・水・金	月～金
北棟5 小児科 (642-5430)	月～金	月～金	2 新幹科産生科 (642-5719)	月・水・金	月・水・金
1 先端理工学診療部 (642-5993)	月～金	月～金	北棟4・5 歯科部門 (電話は法務科へ)	月～金	月～金
1 第一外科 (642-5453)	火・木・金	火・木・金			

※ただし、歯科麻酔科の初診日は月・水・金のみ。
※○印の曜日は予約が必要です。

診療施設等	電話番号
救急部受付	642-5873
時間外受付	642-5163
総合外来受付	642-5138
入院受付	642-5149
公費申請窓口	642-5153
地域連携センター	642-5165
支払い窓口	642-5169
リハビリ受付	642-5862
医療相談	642-5914
在宅療養支援室	642-5185

歯科部門診療科	電話番号
口腔内歯診断科	642-6471
口腔総合診療科	642-6490
全身管理歯科	642-6483
小児歯科	642-6465
矯正歯科	642-6460
歯周病科	642-6425
歯内治療科	642-6430
咬合補綴科	642-6435
義歯補綴科	642-6440
顎顔面口唇外科	642-6445
歯科麻酔科	642-6479

- 休診日
土曜日、日曜日、祝日、
年末年始（12/29～1/3）
- 受付時間（窓口）
8：30～11：00
自動再来受付機
8：15～11：00
- 外来玄関開閉時間
7：00～18：00

歯科部門

- 受付時間
初診 8：30～11：00
再診 8：30～15：00
（矯正歯科は、
8：30～16：00）

注

- 予約がある場合はこの限りではありません。
- 再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となる場合がありますので、あらかじめ受診科「外来」にお確かめ願います。

病院にお越しの際は保険証をお忘れなく！

※保険証の提示がない場合には、保険の取扱いができません。

（代表）092-641-1151

〒812-8582
福岡市東区馬出3丁目1番1号

携帯電話からも九大病院ホームページの診療案内・診療日案内・交通案内が閲覧できます。

アドレスは<http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>です。

ご意見・ご感想を電子メール（ibskoho@jimu.kyushu-u.ac.jp）

または外来棟玄関の「ご意見箱」にどしどしお寄せください。お待ちしております！



九州大学病院 国際医療連携室
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号
TEL: 092-641-1151 FAX: 092-641-1152